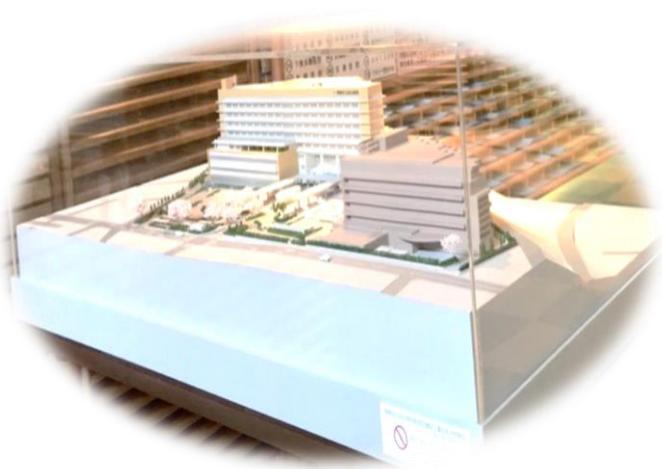


青梅市立

# 総合病院だより

第67号

2021年11月～2022年1月号



青梅市立総合病院

## 内 容 (目 次)

- |  |       |
|--|-------|
| 1. “年頭所感”                                | ……2P  |
| 院長 大友 建一郎                                |       |
| 2. 地域連携医通信 “病院らしくない雰囲気の中で、ゆったりした気持ちで。。。” | ……3P  |
| 医療法人社団 片平医院 院長 片平 潤一                     |       |
| 3. “薬剤部の紹介”                              | ……5P  |
| 薬剤部 部長 松本 雄介                             |       |
| 4. “地域医療連携室よりお知らせ =歯科医科連携=”              | ……10P |
| 地域医療連携室                                  |       |
| 5. “「オンライン面会」の紹介”                        | ……12P |
| 看護局                                      |       |
| 6. 令和3年10月2日から令和4年1月1日までの医師異動表           | ……12P |
| 7. 地域医療連携室からのお知らせとお願い                    | ……13P |
| 8. 事前予約枠一覧表                              | ……14P |
| 9. 外来担当表                                 | ……15P |
| 10. 各種病診連携カンファレンス                        | ……18P |
| 11. CPC 予定表                              | ……19P |

---

### = 当院の理念 =

私たちは、快適で優しい療養環境のもと、  
地域が必要とする高度な急性期医療を、  
安全かつ患者さん中心に実践します。

### = 基本方針 =

1. 私たちは、清潔な病院づくりに努力します。
2. 私たちは、親切な病院づくりに努力します。
3. 私たちは、信頼される病院づくりに努力します。
4. 私たちは、自立できる病院づくりに努力します。

## 1. “年頭所感”

院長 大友 建一郎

先生方には、日頃より当院の病診連携にご協力をいただき、また、多くの患者さんをご紹介いただき、深く感謝申し上げます。

令和4年も2月に入ってしまった、年頭とは言えなくなりましたが、当院の現状を報告させていただきます。

まず、新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナと略します）対応です。現在、オミクロンによる第6波が猛威をふるっており、東京都内の新規感染者数は1日2万人を突破しています。ご存じのように、第6波では第5波と異なり軽症者が多いため、入院患者よりも自宅療養患者が著増しており、2月現在、西多摩保健所管内では入院・宿泊療養約150人に対して自宅療養は2,000人超と、第5波の自宅療養者数の5倍となっています。

非常に多くの自宅療養患者を電話や往診等でフォローいただいている西多摩保健所ならびに医師会の先生方に感謝申し上げます。病院では、自宅療養者の入院が必要となった場合に、随時に迅速に対応できるよう対策を進めています。

西多摩保健所、西多摩医師会、3公立病院が協働して定期的にWEB会議を行うとともに、3公立病院の新型コロナ入院患者数、空床数、入院受入れ可能数等を毎朝情報共有しておりますので、自宅療養中の患者さんの入院が必要となった場合には、当院地域連携室にご連絡をいただければ迅速に対応させていただきます。

一方、家庭内感染の急増のため、職員自身が感染する、あるいは、濃厚接触者となることによる就業制限も多数発生しております。

年度末で厳しい人員状況の中で人的資源を新型コロナ診療に傾注していることもあり、通常診療に制限をかけざるを得ず、病床稼働率や予約入院を制限することで先生方にご迷惑をおかけしており、申し訳ありません。第6波が落ち着くまでの限定的対応であり、どうかご理解を賜れば幸いです。

次に、新病院建設です。病院正門側からはわかりにくいですが、多摩川側の南棟跡地において昨年8月より本館建設が始まっております。現在は地下掘削工事がほぼ終了し、免震装置の設置に向けて基礎工事を進めております。本館の運用開始は来年11月の予定です。新型コロナ対応も重なって、入院病床が減少しており、ご迷惑をおかけしますが、安全に工事を進めてまいります。

また、一昨年より開始した西多摩ICTネットワークですが、おかげさまでこれまでに14病院、8診療所にご参加をいただき、1,000件を超える当院の電子カルテを閲覧いただいております。転院前に現在の入院経過をご覧いただく、紹介患者さんの経過をご覧いただく、自院の患者さんが総合病院救急を受診した経過を確認いただく、などさまざまな用途での電子カルテの閲覧が考えられると思います。是非ご利用いただけると幸いです。

最後に、地域連携懇話会ですが、昨年7月に引き続き、本年1月に2回目のWEB開催を行いました。画像・音声など、まだまだ準備が不十分な点があったことをお詫び申し上げます。次回は本年7月を予定しております。できれば病院内で直接お話しできる状況で・と考えておりますが、新型コロナの先行きが不透明なためWEBでの開催となるかもしれません。是非多くの先生方のご参加をお願い申し上げます。

本年も、より密接な病病・病診連携を目指していきたく思います。

どうぞ、ご指導・ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



## 2. 地域連携医通信 “病院らしくない雰囲気の中で、ゆったりした気持ちで。。。”

医療法人社団 片平医院 院長 片平 潤一

〒198-0036 青梅市河辺町 10-16-20

tel:0428-21-1741 fax:0428-21-4826



河辺駅の北口で開業しています片平です。

高校生の頃、多分御嶽までの遠足の帰りに、青梅街道の河辺駅あたりで、モウモウたる土煙の中、バスの中から土地「売り出し中」の、のぼり旗が立っているのを見て、こんな所が売れる訳がないのにと思ったことでした。

大学を出たあと、東京女子医大の血液内科で血液幹細胞の研究に明け暮れていた頃に、青梅市立総合病院に出向となりました。

滝山街道を車で来たのですが、小作坂上からの一直線の道に、人ひとり車一台なく、これは大変な所に来たものだなあと思いました。

当時、内科は東医や埼玉医大など、いろいろな大学から派遣されて、にぎやかでしたが、途中から血液以外は今と同様、医歯大からとなり、部長の坂本先生や大嶋先生など素晴らしい先生にご指導を受けながら、血液疾患は一手に引き受けていました。

当時は5時以降は残業せずに帰るように厳命されていたので、当直があると翌朝は外来があり、3時頃までやってすぐ病棟の受け持ち患者を診察し、その後でオーダーを書くので、看護師さん達からはオーダー時間を守らないと、いつもブーイングでした。

1.5年間の出向のあとは、女子医大に戻って感染症・化学療法の分野で基礎研究をしていましたが、全くひよんなことから、平成3年、この青梅の地で開業することになりました。

それまでの、ほとんど研究のみの生活から、診療一本へと大転換で別の人生を歩み直す気持ちでした。

当初は近くのビルで診察していましたが、あまりの高家賃にネを上げて、現在の場所に移転しました。

患者さんが、できるだけ待ち時間が少ないように、病院らしくない雰囲気の中で、ゆったりした気持ちで待ってもらえるように、というのがポリシーです。

また、診察でも「患者さんの言うことは、できるだけ全部聞くこと」「病気や薬の説明は詳しくすること」「患者さんの現状はデータを含めて詳しく話すことで、自分のことは理解してもらうこと」「総合病院などへの紹介は早めにする」などを心がけています。



最新の医療を取り入れられるように日々勉強していますが、中々、追いつきません。

大きい病院にいと、どうしても専門分野以外は他の先生に任せて考えなかったり、非常に「純化された」患者さんばかり診ていて、海面下の氷山のような個人差の強いたくさんの患者さんがいることを忘れてしまいます。

実際、開業してすぐの印象は「なんて風邪って多いんだろう」でした。

大学の頃は「患者さんに聞きなさい」とよく言われたのですが、一般開業医でいると、今更ながら人間が個人差が大きくて、新しく知ることが多いことに驚かされます。

総合病院時代は、開業の先生方とコミュニケーションを取ろうという考え方があまりなくて、たまに患者さんが紹介されてきても返事も適当でした。総合病院だけでなく女子医大も同じで、多分「病診連携」という言葉もなかったのではないのでしょうか。

今は、自分が開業医の立場にかわって、総合病院の先生方の連携重視のお気持ちが、患者さんを紹介するたびに伝わってきて、大変有難く思っています。

病因不明の方、検査が必要な方、治療後のフォローアップ等々、自分の力だけではどうしようもない場合が沢山あって、総合病院の存在がなければ完全にお手上げです。

むしろ、昔の開業の先生方が連携なしに、どんなにご苦労されていたのかと思うばかりです。

総合病院の諸先生方には、何卒、今後共よろしくお願い致します。



内科の患者さんの7割は、精神面の悩みを持っていると言われますが、開業していると「専門分野」にあまり意味がなく、内科の全ての分野以外に、精神科的対応や他科疾患にも相談にのる診察を心がけ、手に余る場合に紹介状を書くようにしています。

最近では同世代の先生方と同じく、やや疲れを覚えて、来し方を振り返り、行く末を思案しているところです。



“片平医院ホームページ”より

### 3. “薬剤部の紹介”

薬剤部 部長 松本 雄介

薬剤部では、患者さんに安全・安心な医療を提供するため、各病棟に薬剤師を配置して入院患者さんへの服薬指導や医師と協働した薬学的管理を行っています。外来患者さんに対しては、外来がん治療センターで抗がん剤治療を受けている患者さんへの薬剤と副作用の説明、入院を予定している患者さんには面談による常用薬の確認、手術前中止薬の確認などを行っています。また、院内の各種医療チームに薬剤師が参加し、患者さんにより良い医療を提供するよう努めています。今回は薬剤部で取り組んでいる薬剤師外来と地域連携についてご紹介します。



#### 【薬剤師外来の取組みについて】

薬剤師が外来って？と思われることと存じますのでご紹介をさせていただきます。一般的に薬剤師外来とは、「外来患者さんに最適な薬物療法を実施し、有効性・安全性の向上を目指して薬剤師が服薬指導などを通じて治療に介入する取り組み」のこととされていますが、病院によって考え方は様々です。

近年では、服薬アドヒアランス不良、複数の医療機関を受診、多剤併用・重複投薬などから起こるポリファーマシーが問題視されています。また相互作用についても気を配らなくてはなりません。そして何より円滑に治療を進めるためには副作用の管理がとても重要となります。当院ではこれらを解決する方法の1つとして薬剤師外来の活用を行っています。

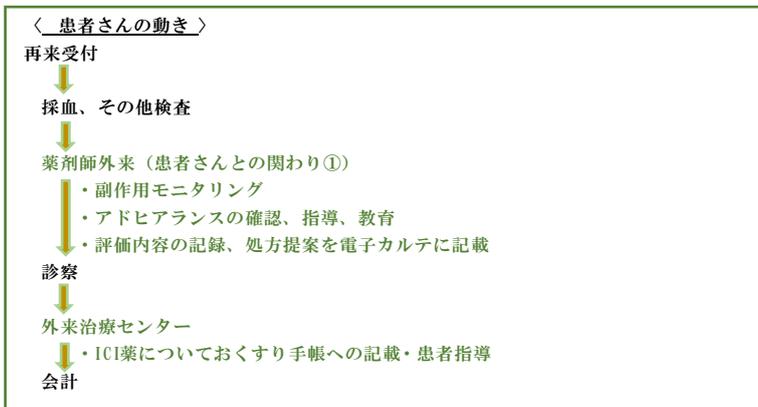
現在、免疫チェックポイント阻害薬(ICI)と血液内科におけるレブラミド®、ポマリスト®などサリドマイド及びその誘導体の薬剤など、一部の薬剤のみの対応となっていますが、体制を整備しつつ対応できる範囲を広げていきたいと考えています。

#### ① 免疫チェックポイント阻害薬(ICI)について

ICI は、重症筋無力症、I型糖尿病、内分泌障害など、従来の抗がん剤とは異なる有害事象が出現することがあります。その副作用に気づかないうちに重篤となる可能性があり、早期発見と対応が重要となっています。初回投与は、必ず入院で行い、医師、薬剤師、看護師が協働して治療の説明、投与時の観察、治療薬・スケジュールの説明・指導を行っています。問題がなければ原則、外来治療に移行します。外来治療での有害事象の早期発見、早期対応を目的として薬剤師外来を活用しています。(図1)(図2)

(図2: ICI 副作用確認シート)

(図1: 薬剤師外来(ICI)の流れ)



免疫チェックポイント阻害薬副作用確認シート

※ 現在、あるいはまた症状をチェックを入れてください。(症状が出現した日付をご記入ください)

※ これらの症状が2日以上続く場合、医師に相談してください。

重症筋無力症  
 口まがたが下がる  
 口輪が動かない  
 足や腕に力が入らない

I型糖尿病  
 口輪がひどくよく  
 水を多く飲む  
 尿量が増える

関節性肺炎  
 口唇がしびれる  
 咳が増えた  
 37.5℃以上の発熱

大腸炎  
 下痢・腹痛  
 排便に血が混じる  
 排便が黒い

内分泌障害  
 口まがたがふる  
 食欲がおちる  
 吐き気

静脈血栓症  
 口むくみや腫れがある

皮膚障害  
 口発疹がある  
 皮膚にかゆみがある

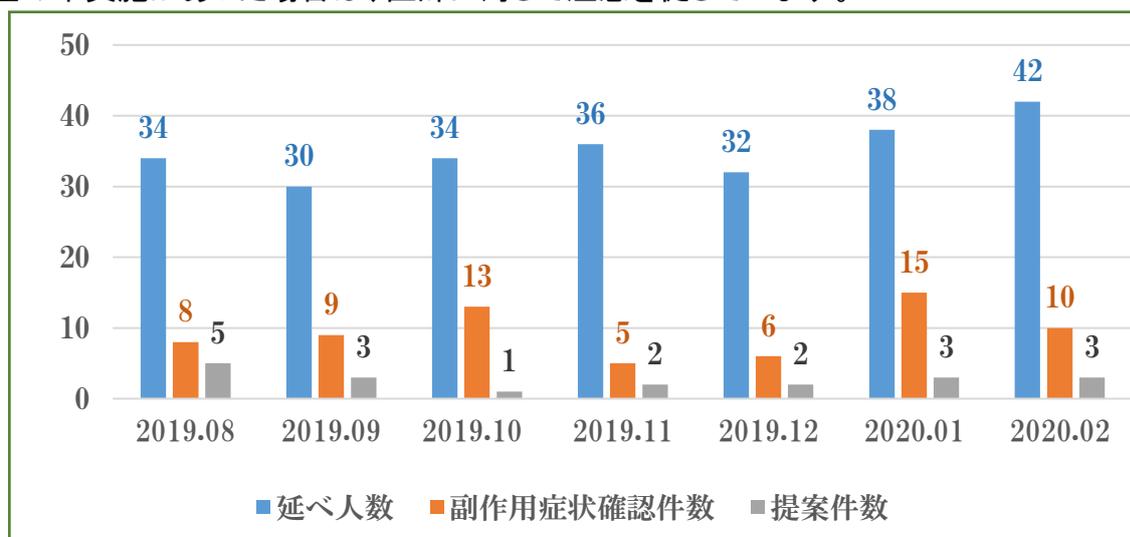
神経障害  
 口手足のしびれや痛み  
 口手足の感覚が鈍くなる

症状	0	1	2	3	症状が出現した日
呼吸困難	ない	胸がやや重くなる	呼吸が苦しい	呼吸が非常に苦しい	
倦怠感	ない	胸が重くなる	胸が非常に重くなる	胸が非常に苦しい	
食欲不振	ない	食欲が落ちる	食欲が非常に落ちる	食欲が完全に落ちる	
吐き気	ない	1回に1-2回吐く	1日に3-4回吐く	1日に5回以上吐く	
下痢	ない	排便がゆるい	排便が水様になる	排便が非常にゆるい	
手足のしびれ	ない	手足に違和感がある	しびれを感じる	しびれがひどくなる	
口の低下	ない	口の閉鎖が弱くなる	口の閉鎖が非常に弱くなる	口の閉鎖が完全に弱くなる	

～その他の症状や気になることをご記入ください～

© 2020 的外来薬剤科にての掲載をご許可ください 青島市立総合病院 (tel: 0428-22-3191)

2019年8月から2020年2月までの調査を示します(図3)。延べ人数246人のうち、薬剤師外来で抽出した副作用症状のある患者さんは66人でした。そのうち医師に繋いだ事例は19例でした。内容としては甲状腺機能障害、腎機能障害、糖耐糖能異常、下痢消化器症状、皮膚障害などでした。また、決められた検査の未実施があった場合は、医師に対して注意を促しています。



(図3:薬剤師外来 ICI の各月ごとの延べ人数・副作用確認件数・提案件数)

## ② レブラミド®、ポマリスト®などサリドマイド及びその誘導体の薬剤について

多発性骨髄腫において、レブラミド®、ポマリスト®などサリドマイド及びその誘導体の薬剤は、腫瘍をより特異的に攻撃する、治療の進歩が目覚ましい分野です。しかし、これらの薬剤には特異的な有害事象、特に催奇形性が認められるため、その処方、患者さん、医療従事者、製薬会社の協力の下、RevMateという仕組みを用いて厳格に運用されています。

当院の対象患者さんの平均年齢は70才であり、アドヒアランスの問題が生じやすいことや調剤・鑑査時においても投与スケジュールの管理が難しいといった問題があります。

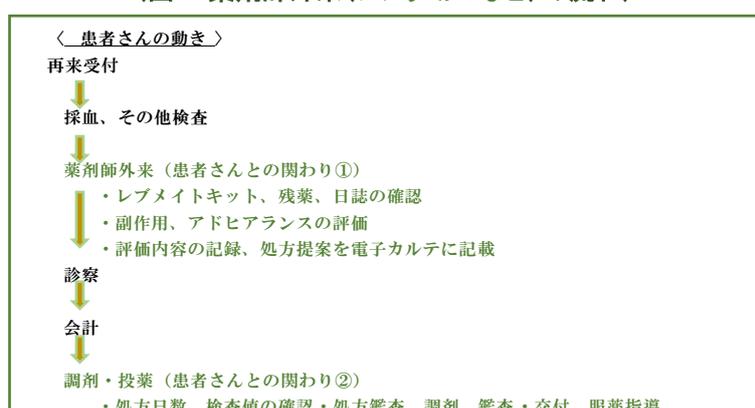
特定薬剤治療管理料2(※1)の算定要件の新設を機に、薬剤師が患者さんの検査値の確認、アドヒアランスの確認、診察前問診等を行うことで薬物療法の支援を行っています。

### ※1 特定薬剤治療管理料2

サリドマイド及びその誘導体を投与している患者に対して、服薬に係る安全管理の遵守状況を確認し、その結果を所定の機関に報告する等により、投与の妥当性を確認した上で必要な指導を行った場合に算定する。

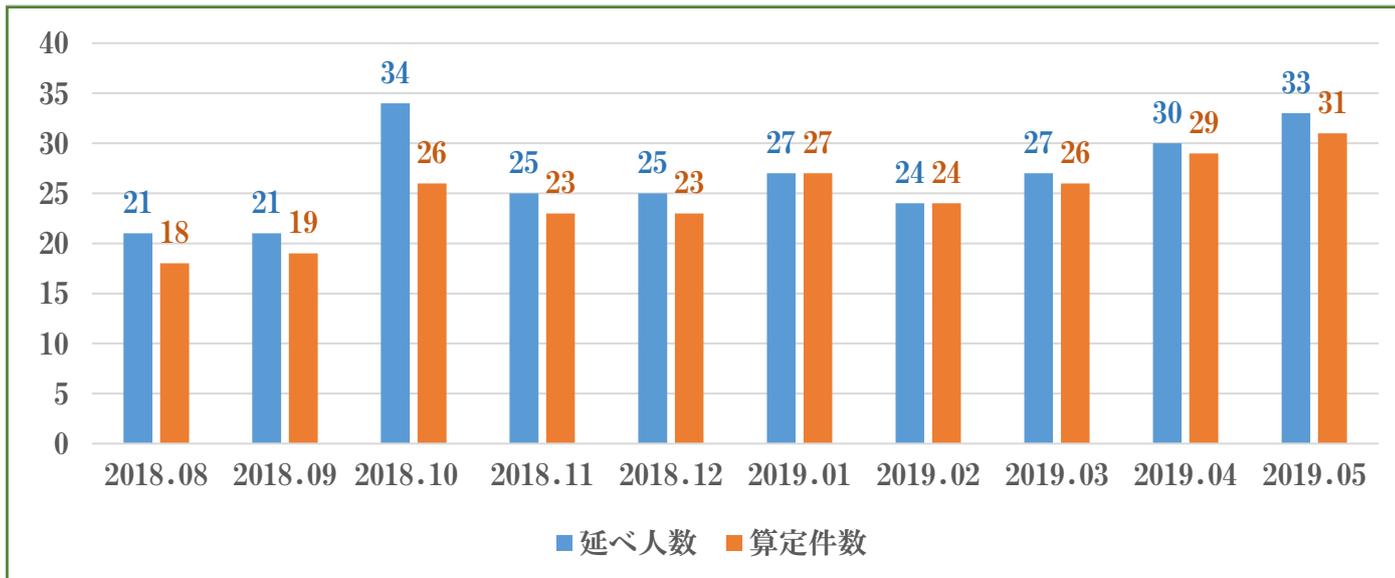
レブラミド®をはじめとしたこれら薬剤の円滑な管理、運用のみでなく、詳細なアドヒアランスの確認、薬剤師による問診での有害事象の確認、検査値に基づく処方提案などを行っています(図4)。

(図4:薬剤師外来(レブラミド®など)の流れ)



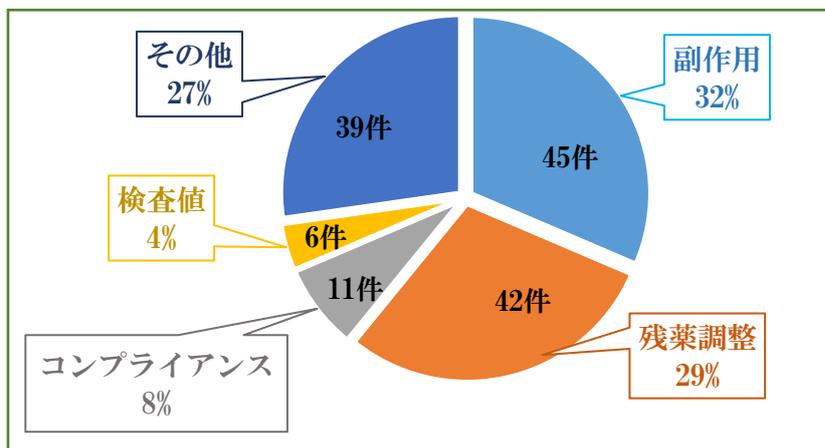
2018年8月から2019年5月までの調査を示します(図5)。延べ人数 338 人のうち、介入した件数は 141 件でした。

(図5:薬剤師外来(レブラミド®など)の各月ごとの延べ人数・算定件数)



内訳は、おもに支持療法の提案、残薬調整、検査値に基づいた投与量の提案などでした(図6)。

(図6:薬剤師外来(レブラミド®など) 薬剤師外来の処方提案などの介入の内訳)



### ③ その他

手術前や検査前の持参薬確認でも薬剤師外来が力を発揮することがあります。患者さんのアレルギー歴をはじめ、併用薬やサプリメントなどの服用歴を確認し、手術や検査に影響ある薬剤を服用されている場合は、それらの日程にあわせて休薬を指示します。

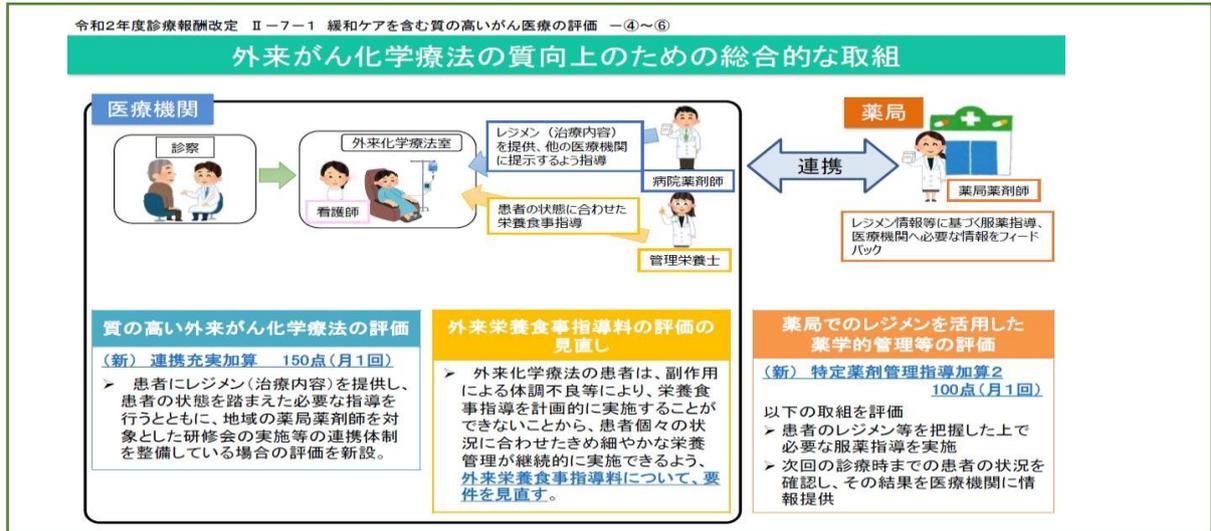
医師や看護師などと情報を共有しながら行っています。患者さんが服用しているお薬に不明な点がある場合は先生方にお問い合わせさせていただくこともありますので、よろしくお願い致します。

### 【地域連携】

令和2年度の診療報酬改定では、外来での抗がん剤治療の質を向上させる観点から、患者さんにレジメンを提供し、患者さんの状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の薬局薬剤師を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備している場合に評価されます。

また保険薬局においては、がん患者さんに対するより質の高い医療を提供する観点から、保険薬局が患者さんのレジメン等を把握した上で必要な服薬指導を行い、次回の診療時までの患者さんの状況を確認し、その結果を医療機関に情報提供した場合に評価されるようになりました。(図7)

当院においても乳がん、大腸がんのレジメンから薬薬連携の体制の整備を始めています。外来治療センターで治療を受けられている患者さんに対して、抗悪性腫瘍剤等の副作用の発現状況を評価して、患者さんに副作用の発現状況を記載した治療計画等の文書をお渡しして、かかりつけの保険薬局にお出ししています。



(図7:厚生労働省保険局医療課 令和2年度診療報酬改定の概要)

当院で発行する文書の内容は以下の通りです。

- ・実施しているレジメン、レジメンの実施状況、投与量
- ・主な副作用の発現状況、その他管理上必要事項 など

文書を受け取った保険薬局では、患者さんの治療内容等を文書により確認し、必要な薬学的管理及び指導を行っていただき、調剤後の抗悪性腫瘍剤の服用に関し、電話等により服用状況、副作用の有無等について確認、病院に必要な情報を文書(トレーシングレポート)により提供していただいています。

保険薬局よりいただいた情報は、必要な分析、評価を実施し、必要に応じて医師、看護師、管理栄養士などと連携し、服薬状況、副作用等に関する情報を診療へ活用させていただいています。

病院のホームページより当院で行っているがん化学療法のレジメンが確認できますので、ご覧になっていただくと幸いです(図8)。

(図8:当院ホームページ ホーム画面から)

分類	病種	レジメン	更新日
1. 呼吸器		△	2020/11/10
2. 消化器系	食道癌	△	2020/11/10
	胃癌	△	2020/11/10
	肝・胆・膵癌	△	2020/11/10
	大腸癌	△	2020/11/10
3. 乳腺		△	2020/11/10
4. 血液	急性白血病	(準備中)	

### 【今後の展望】

地域連携に関しては、薬薬連携を中心に書かせていただきましたが、今後は先生方と連携を取ることが重要だと認識しています。

昨今、高齢化の進展に伴い、加齢による生理的な変化や複数の併存疾患を治療するための医薬品の多剤服用等によって、安全性の問題が生じやすい状況であるといわれています。よくポリファーマシーという言葉が用いられますが、ポリファーマシーとは「Poly(多くの)」+「Pharmacy(調剤)」の造語です。単に薬剤数が多いことが問題ではなく、薬剤が多いことにより薬物有害事象につながる状態、飲み間違い、残薬の発生につながる問題とされています。

ポリファーマシーの解消には、地域の先生方と一緒に考えていく必要があります。先生方との連携が重要になります。薬を通じて病診連携にも関与していく所存です。ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

今後も様々な視点から業務展開を図るとともに、医療の高度化・複雑化に伴う病院薬剤師の責任の重要性を鑑み、薬剤師の育成にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。  
今後ともよろしくお願い申し上げます。

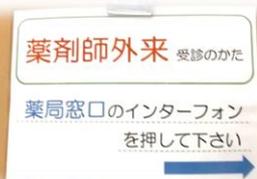


=薬剤部スタッフ一同=

**\* 薬局窓口 \***  
正面玄関に入って、左側にあります。



薬局窓口



薬剤師外来も行っています。  
順番が前後する場合がありますので、  
ご理解をお願い致します。  
薬剤部

#### 4. “地域医療連携室よりお知らせ = 歯科医科連携 = ”

### 地域医療連携室

超高齢化社会が目前に迫り、ますます歯科、医科の連携の重要性が高まるなか、当院といたしまして、今まで以上に緊密な連携関係の構築を目標に活動しております。

昨年度は、新たな取り組みとして、医科のみならず、歯科の先生方にもご参加いただける診療連携医療機関制度をスタートすることができました。

おかげさまで、大変、多くの歯科の先生方に診療連携医療機関制度の趣旨にご賛同いただき、ご参加いただきましたこと、この場をお借りし御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、思うような活動ができませんでしたが、新年度では診療連携医療機関にご参加の先生方を中心に、より良い地域の歯科医科連携に向けた取り組みができればと考えております。

引き続き当院との連携にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

番号	登録医療機関名	市町村	番 地	建物名
1	麻沼歯科医院	あきる野市	雨間 729	
2	池田歯科医院	あきる野市	油平 263-1	
3	大塚歯科医院	あきる野市	雨間 554-1	
4	かねこ歯科医院	あきる野市	小川東 2-7-2	遠藤ビル 201
5	せぬま歯科医院	あきる野市	秋川 2-1-1	壽ビル 2F
6	高取歯科医院	あきる野市	五日市 55	
7	デンタルオフィスたむら	あきる野市	野辺 631-4	
8	ピュア矯正歯科室	あきる野市	秋川 2-7-5	ソレーユ・K 2F
9	あゆみ歯科	青梅市	本町 130-19	鈴木ビル 2F
10	池田歯科医院	青梅市	東青梅 2-20-26	
11	上田歯科医院	青梅市	河辺町 4-21-2	
12	荻野歯科三ツ原診療所	青梅市	藤橋 3-9-7	
13	小沢歯科医院	青梅市	新町 3-70-9	
14	小曾木歯科	青梅市	小曾木 4-2244	
15	北小曾木歯科診療所	青梅市	成木 8-410	
16	北島歯科医院	青梅市	河辺町 10-5-15	KJビル 1F
17	櫻岡歯科	青梅市	西分町 2-62	
18	下奥多摩歯科医院	青梅市	長淵 4-376-1	
19	関口歯科医院	青梅市	野上町 4-1-4	浜中ビル 1F
20	高野歯科クリニック	青梅市	河辺町 5-5-12	
21	高橋スマイル歯科	青梅市	東青梅 5-16-24	
22	デンタルクリニック関	青梅市	東青梅 3-21-36	
23	中丸歯科クリニック	青梅市	長淵 1-9	
24	梅郷歯科クリニック	青梅市	梅郷 4-702-3	
25	橋本歯科医院	青梅市	河辺町 7-4-55	
26	長谷川歯科医院	青梅市	東青梅 5-9-24	

27	ハニーデンタルクリニック	青梅市	東青梅 2-13-20	ネクステージ東青梅 店舗 A
28	東青梅歯科医院	青梅市	東青梅 1-2-5	東青梅センタービル 2F
29	プラム歯科	青梅市	藤橋 3-1-12	
30	三田歯科医院	青梅市	長淵 1-57-1	
31	三井歯科医院	青梅市	東青梅 5-20-10	
32	武藤歯科医院	青梅市	滝ノ上町 1235	
33	武藤歯科クリニック	青梅市	新町 3-31-3	
34	百瀬歯科医院	青梅市	藤橋 2-560-44	
35	山下歯科医院	青梅市	河辺町 10-12-37	
36	やまだ歯科医院	青梅市	千ヶ瀬町 3-403-3	ハシモトビル
37	あさひ公園通り歯科医院	羽村市	富士見平 2-15-1	
38	井上歯科医院	羽村市	五ノ神 2-12-14	
39	うすい歯科・矯正歯科クリニック	羽村市	小作台 1-2-11	
40	宇野歯科医院	羽村市	小作台 3-23-1	
41	おざわ歯科クリニック	羽村市	小作台 2-13-3	
42	加藤歯科クリニック	羽村市	神明台 1-33-20	
43	高田歯科医院	羽村市	五ノ神 1-6-6	
44	西東京歯科医院	羽村市	栄町 2-10-2	
45	西東京歯科医院 小作分院	羽村市	小作台 1-13-12	平和ビル 2F
46	羽中歯科クリニック	羽村市	羽中 2-7-3	
47	羽村歯科医院	羽村市	栄町 2-22-15	
48	ひらいデンタルパートナーズ	羽村市	神明台 1-22-1	
49	平三歯科医院	羽村市	五ノ神 4-7-10	
50	本田歯科医院	羽村市	羽東 1-21-2	
51	ホンダデンタルクリニック	羽村市	小作台 5-2-2	
52	もとえデンタルクリニック	羽村市	神明台 2-11-14	
53	矢野歯科医院	羽村市	五ノ神 4-6-10	1F
54	渡邊歯科医院	羽村市	五ノ神 4-12-13	2F
55	梅田歯科医院	福生市	福生 1046	岸ビル 102
56	江藤歯科医院	福生市	熊川 621	
57	大浦歯科医院	福生市	福生 867	
58	おくむら歯科クリニック	福生市	牛浜 118-1	2F
59	片岡歯科医院	福生市	本町 44	
60	河野歯科医院	福生市	南田園 3-2-38	
61	せきぐち歯科	福生市	熊川 449	
62	田辺歯科・矯正歯科医院	福生市	本町 90	
63	平出歯科医院	福生市	福生 248-11	
64	ふみ歯科診療所	福生市	福生 798-2	第7森田ビル 1F
65	岩永歯科医院	瑞穂町	箱根ヶ崎 105-1	

※追加:上記以外に、5施設のご登録をいただいております。

## 5. 「オンライン面会」の紹介

### 看護局

当院では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う感染予防対策として、面会を控えていただいております。患者さん及びご家族の皆様には、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

このような状況の中、少しでも患者さんにご家族の皆様が繋がっていただけたらと、2021年10月より「**オンライン面会**」を開始いたしました。



正面玄関のスペースにおいて、「院外処方せん FAX 受付」の並びに「**オンライン面会**」用のブースを設置しました。

ご家族の皆様は、ブース内から、備えてある iPad で、入院されている患者さんとお顔を見ながら会話していただけます。

実際にご利用になられたご家族様からは、「入院中の様子を見ることができて安心した」などのお言葉をいただいております。

「**オンライン面会**」をご希望される場合には、患者さんが入院している病棟に予約のお電話をお願いします。

お気軽にご相談ください。

## 6. 令和3年10月2日から令和4年1月1日までの医師異動表

令和3年10月2日から令和4年1月1日までの間、医師1名の採用がありました。

### ● 医長・医員・専攻医

#### 新任 医師

日付	科名	役職名	採用者
1月1日	皮膚科	医長	岡部 正和

1月1日現在、当院の医師数は、嘱託医・専攻医・初期臨床研修医を含め、162名です。



## 7. 地域医療連携室からのお知らせとお願い

平素より患者さんをご紹介いただきまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

消化器内科の予約が1ヶ月以上先になってしまい申し訳ございませんでした。4 枠増枠いたしましたのでよろしくお願いたします。また、内分泌糖尿病内科 4 枠増、リウマチ膠原病内科 2 枠増となりましたのでご利用ください。

産婦人科にご紹介の場合は受診日前日までに診療情報提供書もお送りください。詳しくは『事前予約枠一覧表』をご参照ください。

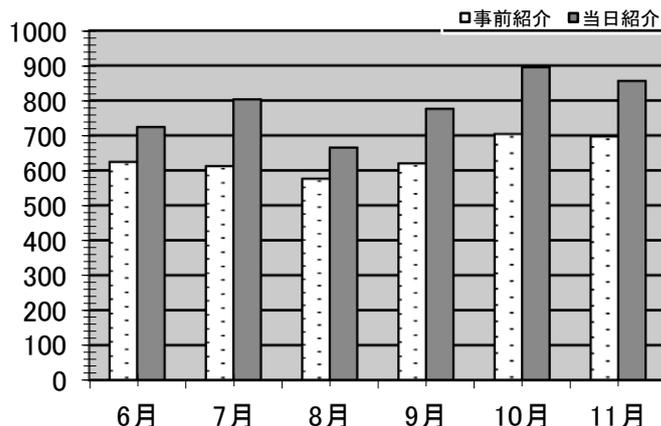
地域の先生方のご協力を賜りながら対応して参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスが収束し、患者さんご家族が安心して通院・入院できる日が一日でも早く来ることを願いながら、今後とも先生方との密接な連携がとれるように努力してまいります。

※ご病状により、ご依頼いただいた科以外での受診となる場合がございますが、何卒ご了承いただきたくお願い申し上げます。

紹介患者数一覧表

ご紹介の形態	ご紹介いただいた患者数					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
事前予約	624	612	576	620	704	697
当日紹介	724	803	665	776	895	856
合計	1,348	1,415	1,241	1,396	1,599	1,553



### 事前予約で受診の場合には

- ①診療予約時間が確定します。
- ②医事課での受付時間が短縮します。

※予約なしで紹介状をお持ち頂いた場合、当日に診療できますがお待ちいただくことがあります。

### 【事前予約の流れ】

#### 1. 予約のお問い合わせ先

0428-22-3191(代表電話)

精神科・もの忘れ外来

↓  
精神科外来へ、  
連絡ください。

『事前予約枠一覧表』を  
ご参照ください。

心房細動外来、血管外来(循環器内科)  
血管外来(外科)、乳腺外来、SAS外来、IP 外来  
脳卒中センター、骨粗鬆症予備外来  
生活習慣病栄養指導外来、糖尿病透析予防外来  
ｲﾝｽﾘﾝ ﾎﾟﾝﾌﾟ・CGM 外来(持続性血糖モニタリング)

↓  
地域医療連携室へ連絡ください。

※診療科予約は『事前予約枠一覧表』をご参照ください。  
※SAS 外来、乳腺外来は患者さんからの予約も承っております。  
※電話がつながりにくい場合は先に FAX をお送りください。  
折り返しお電話を差し上げます。

CT・MRI・PET・RI 検査

↓  
放射線診断科受付へ連絡  
ください。

『事前予約枠一覧表』を  
ご参照ください。  
FAX 送信書類は担当にご確認ください。

#### 2. 『事前予約申込書』等の送り先

土日祝日を含めて 24 時間 FAX を受け付けております。一般電話受付時間 8:30~17:00

17時以降にご送信いただいた申込書については翌営業日にご連絡いたします。※予約票はお送りしていません

地域医療連携室長 野口 修

地域連携担当 澤崎・戸田・鈴木・中村・島田・石川・高野・加倉井・小松・永田・大原・森田

## 8. 事前予約枠一覧表

令和4年2月1日現在

診療科	○の中の数字は人数					時間	備考
	月	火	水	木	金		
内科	②	②	②	②	②	9時～	診断が確定していない場合にご予約いただけます。 診断が確定している場合は各専門外来にご紹介ください。
生活習慣病栄養指導外来	②	②	②	②	②	9時30分～	
呼吸器内科 ※	④	②	④	④	④	11時30分～12時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。 予約時間の30分前までに来院するようお願いください。 睡眠時無呼吸症候群の疑いの方はSAS外来にご紹介ください。 患者さんからもご予約いただけます。
SAS外来	②	②				16時～16時30分	
IP外来	②		②			15時～16時	間質性肺炎の場合はご紹介ください。
消化器内科 ※	⑪	②	③	④	②		予約時間はお問い合わせください。
循環器内科 ※	③	⑥	⑥	⑥	⑥	11時30分～12時30分	予約時間の45分前までに来院するようお願いください。
心房細動外来	②					9時～10時	予約時間の30分前までに来院するようお願いください。
血管外来(循内) ※		④				14時～16時	閉塞性動脈硬化症の場合はこちらへご紹介ください。予約時間の30分前までに来院するようお願いください。
腎臓内科 ※	①	①	②	①		11時～12時	受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いします。予約時間はお問い合わせください。
内分泌糖尿病内科 ※	⑤		③	③	②	9時～12時30分	受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いします。
糖尿病透析予防外来	○			○		12時～	予約時間の60分前までに来院するようお願いください。
インスリンポン CGM 外来		③				14時30分～16時	
血液内科 ※	①	①	①	①		10時30分～11時	9時45分までに来院するようお願いください。受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いいたします。
リウマチ科 ※	②	②	②	②	②	10時～11時30分	45分前までに来院するようお願いください。受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いいたします。
外科 ※	③	③	③	③	③	9時30分～11時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
血管外来(外科) ※	②						腹部大動脈瘤・下肢静脈瘤の場合はこちらへご紹介ください。 受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
乳腺外来 ※			②			15時30分～16時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。 患者さんからの予約も可能です。
脳神経外科 ※	①		①	①	①	9時～9時30分	火曜日は手術日です。
脳卒中センター	①			①		13時～16時	未破裂脳動脈瘤、脳動脈奇形、硬膜動脈瘤、頸動脈狭窄症等
脳神経内科 ※	②	②	①	②	②	13時～14時	もの忘れ・認知症は精神科の「もの忘れ外来」へご紹介ください。
呼吸器外科 ※			②				受診日・時間は、診療情報提供書をFAXしていただいた後、医師に確認の上、ご連絡差し上げます。
心臓血管外科 ※	①		①				
整形外科 ※	○	○	○	○	○		受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。 (火)(金)脊椎専門外来(木) 膝専門外来
骨密度(DEXA)検査	⑨		⑨	⑨	⑨	13時40分～15時40分	検査時間は30分程度です。
骨粗鬆症予備外来		⑨			⑥	(火)11時30分～12時30分 (木)9時～9時30分	
産婦人科 ※	④	④	④	④	④	10時～11時	
皮膚科 ※	②		②	②	②	9時30分～12時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
形成外科 ※		①		②		(火)14時30分～16時30分 (木)9時30分～11時30分	予約時間はお問い合わせください。
泌尿器科	③		③	③		10時30分～12時	受診前に検尿があります。受診時採尿できない場合は必ず当日の朝に採尿したものをお持ちください。
小児科 ※	○	○	○	○	○	9時～12時	人数制限はありません。受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
眼科	②	②	②	②	②	9時40分～10時50分	当日は症状により散瞳剤を点眼して検査を行う場合があるため ご自身が運転するお車でのご来院はお控えください。
耳鼻いんこう科		②	②	②	②	10時～11時	水曜日は手術日のため医師指定はできません。また ARB 検査は受診当日にはできません。
精神科							精神科外来で予約を承ります⇒TEL0428-22-3191(代表)
もの忘れ外来							
放射線診断科							CT,MRI の検査の予約は放射線科受付で承ります⇒TEL0428-22-3191(代表)
歯科口腔外科	③	③		③	③	9時30分～11時	水曜日は手術日のため休診です。

※印は『診療情報提供書』のFAX送信を受診予約日の前営業日までにお問い合わせしております。

◆: 当日受付可

無印: 予約及び紹介のみ

(令和4年1月1日現在)

## 9. 外来担当表

		月	火	水	木	金
内科	午前	交代で◆ (新患)	交代で◆ (新患)	交代で◆ (新患)	交代で◆ (新患)	交代で◆ (新患)
	午後	交代で◆ (総合内科)	交代で◆ (総合内科)	交代で◆ (総合内科)	交代で◆ (総合内科)	交代で◆ (総合内科)
呼吸器内科	午前	磯貝 藤井伸	高野 矢澤	日下 村上	佐藤謙 井上	磯貝 大場
	午後	藤井伸◆	高野◆ 矢澤◆	日下◆ 村上◆	佐藤謙◆ 井上◆	磯貝◆ 大場◆
消化器内科	午前	濱野◆ 申◆	伊東◆ 山下◆	伊藤ゆ◆ 岡田◆ 西平◆	野口◆ 松川直◆	吉岡◆ 渡部◆
	午後	濱野 松川直	渡部 岡田	伊藤ゆ 伊東	野口 申 西平	吉岡 山下
循環器内科	午前	栗原顕 木村	吉竹 阿部	小野裕 野本	鈴木 矢部	宮崎 田仲
	午後	栗原顕 木村	吉竹 阿部	小野裕 野本	鈴木 矢部	宮崎 田仲
腎臓内科	午前	木本 竹田	木本	河本	篠遠	代診医
	午後	竹田	木本	河本	篠遠	代診医
内分泌 内科 糖尿病	午前	足立淳◆ 水口◆		足立淳 水口◆	水口◆ 青山◆	足立淳◆ 青山◆
	午後	足立淳		インスリンポンプ CGM 外来	水口	足立淳
血液内科	午前	熊谷	千葉	川上	久保木	熊谷
	午後	熊谷	千葉	川上	久保木	熊谷
リウマチ・ 膠原病科	午前	長坂			竹中健	戸倉
	午後	長坂	小宮 戸倉	長坂	庭野	長坂
緩和 ケア科	午後			松井		

		月	火	水	木	金
外科	午前	山本 工藤	当番医◆ 当番医◆ 石井 杉崎(*化学療法外科)	山崎 ストマ外来 杉崎 (*化学療法外科)	当番医◆ 当番医◆ 竹中芳 工藤 杉崎(*化学療法外科)	当番医◆ 当番医◆ 澤井 シャント
	午後	山本 (血管外来)	山下 本多 杉崎 (*化学療法外科)	佐藤 (乳腺外来)	平野 工藤/山本 (血管外来) 杉崎 (*化学療法外科)	藤井 【小児外科外来】 田中裕 (第1)
胸部 外科	午後	染谷 (心臓血管外科) 今井(午前) (呼吸器外科)		染谷 (心臓血管外科) 白井 (呼吸器外科)		
整形 外科	午前 午後	当番医◆ 佐々木 (第2・4午前) 井口(午後) 【骨粗鬆症外来】	加藤・石井(午前) 高桑・元吉(午前) 藤田(午後) 【脊椎専門外来】 【予備外来:11:30】	佐々木・井口 (午前・午後) 【骨腫瘍専門外来】 (第1:午後) 【加藤第1・4(午後)】	当番医◆ 元吉(午前) 【膝専門外来】 【第2・3・5(午前)】	石井・高桑・当番医(午前) 加藤・元吉(午前) 【脊椎専門外来】 (午後) 【石井 11:30】【予備外来:9:00】
形成 皮膚科	午前	岡部(皮膚科)		岡部(皮膚科)	岡部(皮膚科) 井上◆(形成外科)	岡部(皮膚科)
	午後		石川◆ (形成外科)			
産婦人科	午前	大吉 鈴木 栗原大 当番医◆ 当番医◆ 当番医◆	立花 西中 当番医◆ 当番医◆ 当番医◆ 当番医◆	伊田 郡 野間 当番医◆ 当番医◆ 当番医◆	小泉 斉藤 当番医◆ 当番医◆ 当番医◆	陶守 小澤 濱川 招聘医師◆ 当番医◆ 当番医◆
	午後		当番医 (14:00~16:00)		当番医 (14:00~16:00)	
	妊婦 健診	野間(午前)	濱川(午前)	栗原大(午前)	依光(午前)	斉藤(午前)田中(午後)
	午後	産後1か月検診	予約外来 子宮がん検診	産後1か月検診	予約外来 子宮がん検診	予約外来
助産師 (*土曜診察あり)	当番助産師 (9:00-14:00)	当番助産師 (9:00-16:00)	当番助産師 (9:00-16:00)	当番助産師 (9:00-16:00)	当番助産師 (9:00-16:00)	当番助産師 (9:00-16:00)
		授乳相談	母親教室	母乳外来		
脳神経センター (脳神経内科・脳神経外科) 脳卒中センター	午前	脳神経内科 当番医 (新患)◆	脳神経内科 当番医 (新患)◆	脳神経外科 当番医 (新患)◆	脳神経内科 当番医 (新患)◆	脳神経外科 当番医 (新患)◆
		脳神経内科 田尾 (午前・午後)  脳神経外科 高田義 脳卒中センター 戸根(午後)	脳神経内科 高岡 (午前・午後)	脳神経内科 仁科智 (午前・午後)	脳神経内科 片山 (午前・午後)  脳神経外科 百瀬 脳卒中センター 戸根(午後)	脳神経内科 田尾 (午前・午後)

		月	火	水	木	金
泌尿器科	午前	中園◆ 高◆	当番医◆	村田◆ 藤◆	村田◆ 中園◆	当番医◆
	午後	中園 藤 予約診療 予約の検査・手術	手術	村田 高 予約診療 予約の検査	村田 中園 予約の検査	予約診療 手術
小児科	午前	高橋寛◆ 神田◆ 下田◆ 高橋顕◆	高橋寛◆ 横山◆ 小野真◆ 西畑◆	神田◆ 下田◆ 有路◆ 生形◆	高橋寛◆ 神田◆ 西畑◆ 高橋顕◆	横山◆ 小野真◆ 有路◆ 生形◆
	午後	当番医  アレルギー外来 神経外来(第2)  予防接種	当番医  心理外来  乳児検診	当番医  心理外来 (第1・3)	当番医  心臓外来(第1) 神経外来 内分泌外来 (第3/5)	当番医  腎臓外来 (第4)  乳児検診
眼科	午前	森◆ 金井◆	森◆ 秋山◆	秋山◆	森◆ 金井◆	秋山◆ 金井◆
	午後	レーザー・処置 予約の検査	レーザー・処置 予約の検査	手術 予約の検査	レーザー・処置 予約の検査	レーザー・処置 予約の検査
耳鼻いんこう科 ・頭頸部外科	午前	当番医◆ 手術	得丸◆ 田中◆ 高橋佑◆	当番医◆ 手術	得丸◆ 田中◆ 高橋佑◆	得丸◆ 田中◆ 高橋佑◆
	午後		補聴器外来		頭頸部外科外来 補聴器外来	
精神科	午前・午後	当番医(午前) (新患)  石橋	当番医(午前) (新患)  岡崎 谷	当番医(午前) (新患)  田中 谷	当番医(午前) (新患)  岡崎  村松(心理)	当番医(午前) (新患) 田中 藤田 村松(心理) (第1・3・5)
放射線 治療科	午前・午後	大久保(午後)			糸永	当番医(午後)
リハビリ テーション科	午前					
歯科 外科 口腔	午前	樋口◆	樋口◆		樋口◆	樋口◆
	午後	樋口	樋口		樋口	樋口

## 10. 各種病診連携カンファレンス

**青梅心電図勉強会**(2、7月)

第51回 未定

**西多摩心臓病研究会**(10月)

第37回 未定

**西多摩呼吸器懇話会**(3、9月)

第30回 未定

**西多摩消化器疾患カンファレンス**(夏、冬)

第36回 未定

**西多摩高血圧カンファレンス**(年1回)

第19回 未定



\* 新型コロナウイルス(COVID-19)オミクロン株の感染拡大の状況の中、各会における開催は、見合わせております。ご了承ください。

皆様とお会いできることを楽しみにしております。

### 「がん相談支援センター」

Tel:0428-22-3191(代) Fax:0428-25-1854

月曜日～金曜日 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

地域の皆様やがんの患者さん・AYA 世代(Adolescent and Young Adult:15歳から30代)の患者さん・ご家族の方が安心して治療・療養していただけるように、専門の看護師・ソーシャルワーカーがお話を伺い、医療スタッフと連携しながら、一緒に考え、支援しております。対面相談と電話相談があります。

対面の場合、予約の方が優先になります。予約は、お電話でも、直接来室でも承ります。

どうぞ、お待ちしております。

地域医療連携室:がん相談支援センター

## 11. CPC 予定表

時間 18時30分～20時00分

CPCは原則として隔月(偶数月)第3月曜日に、開催されます。

( 第3月曜日が休日の場合は第4月曜日となります )



### \* 令和4年 2月 21日 (月)

**症例** 77歳 男性

**[臨床診断]** 特発性多中心性キャッスルマン病

担当 : リウマチ科 戸倉

病理担当 : 笠原・加藤

### \* 令和4年 4月 18日 (月)

**症例** 未定

感染防止対策をとりながら、  
開催しております。

お忙しい中、  
皆様のご参加に、  
感謝いたします。

\* 決まり次第、お知らせいたします。

\*\* 昨年12月に予定しておりました「令和3年度第5回 臨床病理検討会」を  
令和4年1月17日に、開催いたしました。

症例:74歳 男性  
【臨床診断】下肢閉塞性動脈硬化症  
担当: 内分泌糖尿病内科 青山祐希  
司会: 消化器内科 濱野耕靖

お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。



CPC担当 病理診断科副部長 笠原 一郎

## 編集後記

新型コロナウイルス(COVID-19)と向き合う 2 度目の新年を迎えました。昨年後半には、少し平静を取り戻した院内でしたが、現在は、オミクロン株による第 6 波というタイプの異なる感染状況の中におります。

先生方におかれましても、対応の変化に、疲弊されているのではないのでしょうか。

当院では、医療逼迫を防ぎ、クラスターを起こさないように、今までの経験を活かし、感染防止対策に日々取り組み診療しております。

また、長期間におよぶ面会禁止で、ご家族と患者さんの繋がりが断たれてしまっています。せめて少しでもお役に立てたらと、「オンライン面会」を開始しました。直接の面会ができるようになるまでの架け橋となることを願います。

今号では、松本薬剤部長に薬剤師外来について紹介していただきました。患者さんが薬に対してのご理解を深められ、それが治療の一助となるよう、努力して参ります。

新病院建設における騒音・振動・大型車両の出入りなどについて、日々ご迷惑をおかけしております。着々と進んでおります。細心の注意を払っておりますが、なにとぞ、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

先生方も、ご自身の体調管理に十分お気をつけください。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室 看護師長 澤崎 恵子

＝お詫び＝

当院の事情により、今号の発行が遅れてしまいました。誠に申し訳ありません。  
今後とも、なにとぞ、よろしくお願いいたします。

**青梅市立総合病院だより 令和3年11月～令和4年1月 第67号**

**発行 令和4年1月**

**発行者 青梅市立総合病院 院長 大友 建一郎**

**担当 地域医療連携室 / 広報サービス委員会**

**〒198-0042 青梅市東青梅4-16-5**

**TEL 0428-22-3191**

**FAX 0428-24-5126**

**URL <http://www.mghp.ome.tokyo.jp/>**